

急激に進む少子化で学校はどうなるの？

～ 6 年後の曾於市立小学校の児童数の予測～

今、日本は急激な少子高齢化で人口減少期を迎えています。推計では 2050 年に 9,500 万人、2100 年には 6,300 万人まで減少すると見込まれています。特に減少著しいのが出生数です。10 年前の 2013 年に生まれた子どもは全国で 102 万人、それが昨年の 2023 年には 72 万人、減少率 30% となっています。曾於市も 10 年前に生まれた子どもは 264 人でしたが、昨年は 159 人と減少率 40% まで落ち込んでいます。当然子どもが減ると学校の入学者も減り児童数も少なくなってきます。

下表は各学校ごとの来年度からの入学者数と、令和 6 年度と令和 12 年度の全児童数の比較を示しています。ほぼすべての学校が 6 年後には児童数を減らし、今よりさらに小さな規模の学校になっていくと予想されます。市全体でも 400 人近く減り、減少率も 25% を超える見込みです。児童数が 10 人以下の学校が 6 校に増える可能性もあります。



各小学校の入学者数の推移と児童数の変化（令和 6 年度と令和 12 年度比較）

就学年度	令和 6 年度 全児童数	令和 7 年度 入 学 者 数	令和 8 年度 入 学 者 数	令和 9 年度 入 学 者 数	令和 10 年度 入 学 者 数	令和 11 年度 入 学 者 数	令和 12 年度	
							入学者数	全児童数
末吉小	530	70	82	81	63	68	63	427
檜 小	33	4	6	3	6	1	3	23
岩北小	10	4	1	0	2	1	1	9
岩南小	11	1	1	2	0	2	1	7
諏訪小	57	10	8	9	6	8	4	45
光神小	11	0	0	1	2	1	2	6
深川小	38	9	1	3	8	3	3	27
柳迫小	64	7	11	6	4	5	8	41
末吉計	754	105	110	105	91	89	85	585
岩川小	269	35	29	34	24	23	29	174
菅牟田小	14	0	2	1	0	0	0	3
笠木小	32	3	2	4	2	0	1	12
大隅北小	26	6	4	1	3	3	5	22
恒吉小	10	1	2	0	0	0	0	3
月野小	44	10	12	6	3	8	5	44
大隅計	395	55	51	46	32	34	40	258
財部小	285	39	53	35	28	36	25	216
財部南小	14	6	5	3	2	2	3	21
中谷小	17	1	1	2	1	1	0	6
財部計	316	46	59	40	31	39	28	243
曾於市計	1,465	206	220	191	154	162	153	1,086

想定よりも早く進む少子化の中で教育委員会では、児童数減や学校の小規模校化に対してどう対応するか検討を始めているところです。市民の皆さまはどのようにお考えでしょうか。ぜひご意見をお聞かせください。

教育委員会からの
お知らせ

令和 7 年度から曾於市立小中学校は始業式と入学式が別日になります。
始業式は 4 月 7 日（月）で、入学式は 4 月 9 日（水）です。